



## 子どもたちの成長を見守って

2月を迎え、今年度のまとめの時期となりました。保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動へのご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本校では、グランドデザインに掲げる「一人ひとりの『やってみたい!』を引き出す学びの場づくり」を軸に、児童・生徒が意欲を持って学び、自ら選択し、意思を伝える力の育成に取り組んでいます。学習指導では、一人一台端末（Chromebook・iPad）や電子黒板などの ICT 機器を活用し、個別最適な学びと協働的な学びの充実を図ってきました。1月 28 日の研究公開では、その取組の成果を近隣の学校や他の特別支援学校の教員に報告し、児童・生徒の成長の姿をご覧いただくことができました。

また、今年度の取組を振り返るに、11月に実施しました学校評価アンケートでは、「ICT 機器を活用したわかりやすい授業が行われている」との項目で保護者の評価が昨年度より向上し、職員の意識向上も感じられます。さらに、「自分の意見を持ち、発信する力がついている」との項目にも多くの肯定的なご意見をいただき、本校がめざす子ども像の育成につながっていることを実感しております。

年度の締めくくりとなるこの時期、児童・生徒一人ひとりが今年度の学びを自信につなげ、次の学年へ向けてさらに成長できるよう、今後も全教職員で支援してまいります。引き続き、温かいご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

副校長 佐々木 由紀子

## 令和 7 年度研究公開

「ICT で広がる学びの可能性」

～2年間の研究発表会を終えて～

現在、国が進めている「GIGA スクール構想」により、神奈川県内の学校の ICT 環境も大きく変化しています。本校においても、令和 5 年度末までに 1 人 1 台の端末環境が整いました。

- ・ 小学部・中学部： 学校貸与の iPad を活用
- ・ 高等部： ご家庭でご購入いただいた端末（主に Chromebook）を活用

このように、子どもたちが日常的にデジタルツールに触れる環境が整ったことで、「個々の特性やニーズに合わせた支援ツールとして、もっと ICT を活用していこう!」という声が教職員の間で一段と高まりました。

「2年間の研究活動とその成果」

本校では、子どもたちの学びをより深め、可能性を広げるために、ICT の活用方法について 2 年間にわたる研究活動を続けてまいりました。その集大成として、去る 1 月 28 日、校内および外部の教育機関に向けて研究公開を開催いたしました。「どのように端末を使えば、子どもたちがもっと楽しく、分かりやすく学べるか」を追求してきた取組について、専門家や他校の教員に公開いたしました。

「これからの「学び」に向けて」

ICT 機器は魔法の杖ではありませんが、適切なツールを使うことで、子どもたちが「自分でできた!」「もっと伝えたい!」と思える瞬間は確実に増えています。

今回の研究発表で得た知見や外部からのアドバイスを、今後の日々の授業にしっかりと還元してまいります。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

